

教科 (科目)	理科 (生物)	単位数	4 単位	学年	2～4 年次
使用教科書	実教出版『生物 新訂版』7実教 生物308				
副教材等	なし				

学 習 目 標

「生物基礎」との関連を図りながら、生命現象を広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身につけさせる。様々な生物や生命現象を通して、生命の尊さを認識させる。

学 習 計 画

学習項目	学 習 内 容	試験範囲 (学習期間)
1章 細胞と分子	・細胞を構成する物質について学習する。 ・タンパク質の基本的な構造を学習し、生命活動に果たす役割を理解する。	前期中間考査 (36時間)
2章 代謝	・呼吸・光合成の詳細なしくみを学習し、エネルギーの変換により生命活動が成り立っていることを理解する。	
3章 遺伝情報の発現	・DNAの構造、タンパク質の合成について詳細なしくみを理解する。 ・バイオテクノロジーについて学習し、その有用性を理解する。	前期期末考査 (34時間)
4章 生殖と発生	・有性生殖では、多様な遺伝子の組合せが生じることを理解する。 ・細胞の分化や形態形成について、誘導現象を中心に学習し理解を深める。	
5章 動物の反応と調節	・神経細胞の基本的構造と働きを理解する。 ・動物の行動について、神経系における情報伝達のしくみと関連づけて学習する。	後期中間考査 (36時間)
6章 植物の環境応答	・植物の環境応答には、さまざまなホルモンが関与していることを学習する。	
7章 生物群集と生態系	・個々の個体群は生態系内で特定に役割を果たしていることを理解する。	後期期末考査 (34時間)
8章 生命の起源と進化	・生命の誕生や生物の変遷は、地球環境の変化と密接に関係していることを理解する。	

計 140 時間 (50分授業)

評 価 規 準 と 評 価 方 法

評価は、次の4観点から行う。

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③観察・実験の技能	④知識・理解
自然の事物、現象に関心を持ち、意欲的に授業に取り組んでいる。 実験、観察に主体的に取り組んでいる。 教師の発問に対して意欲的に答えている。	自然の事物、現象の中に問題を見いだしている。 実験、観察に関してさまざまな観点から考察し、理論的に考えている。 実験、観察の結果を的確に適切な言葉でまとめることができる。	生物学的な方法で生物や生命現象に関する問題を取り扱い、観察・実験の技能を修得している。 互いに協力して、実験・観察を行うことができる。	自然の事物、現象における原理、法則などの基本的な知識を理解している。 実験、観察の目的や原理を理解している。
以上の観点をふまえ、定期考査の成績、提出物、授業への取り組みから総合的に評価します。			

授 業 の 進 め 方 ・ 課 題 ・ 提 出 物 な ど

普通の授業では、必要に応じてノートを取り、しっかりとプリント課題の記入をしましょう。提出物は期限を守り提出してください。

担 当 者 か ら の メ ッ セ ー ジ

将来、看護系や農業系に進学を考えている生徒は履修・修得することが望ましい。